



江別市 Ambitious Farm(株) 『にんじん、馬鈴薯を東南アジアへ』

【主な品目】

にんじん、馬鈴薯、赤大根、とうもろこし等

【主な輸出先国・地域】

シンガポール、台湾、マレーシア、タイ

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 2017年から、北海道庁主催の商談会を通じて、シンガポールのレストラン向けに、貯蔵と保存が利くカラフルにんじんとカラフルじゃがいもなどの根菜類を中心にテスト販売を実施。
- ◆ 2018年にはJETRO北海道等が企画する「輸出塾」のメンバーとして現地視察や商談会に参加。マレーシアやタイでも野菜を販売。
- ◆ 2021-2022年、北海道国際流通機構を通じて、「JETRO地域貢献プロジェクト商談会」、「海外バイヤーとのオンライン商談会（江別市）」に参加。

【輸出実績】（平成29年産より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和元年度	12	0.1	7-11月
令和2年度	0	0	-
令和3年度	0	0	-

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内販売（ネット）強化中。

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 輸出する際には差別化を図る必要があるが、ニンジンや馬鈴薯は黄色や紫色などカラフルな品種で、それぞれ味の特徴が異なり、「珍しい」「フルーツのように食べられる」などの好評を得ていることから、カラフルな見た目と濃い野菜の味等を強みに、現地の富裕層が利用するレストランや小売店をターゲットとしていく。
- 船便輸送の際は野菜の腐敗を防ぎ、鮮度を保持するために、FG（鮮度保持袋）を使用し運搬している。
- エコファーマー認証、J-GAP認証を取得している。

【今後の課題・展望】

- 今後はアジアGAPの取得を検討しているが、認証に維持費用や更新費用がかかり、負担となっている。
- 物流コストを抑える工夫や現地での信頼できるパートナーを探す必要がある。



シンガポールでの
試食販売の様子



マレーシアでの商談様子

【活用した支援・施策】 GFP, 輸出塾、江別市「海外市場開拓等促進補助金」

【ウェブサイト】 <http://ambitious-farm.co.jp/>

【連絡先】 Ambitious Farm株式会社 TEL: 011-555-4210 Mail: info@ambitious-farm.co.jp